



みなみそうや なかとんべつ
南 宗合消防組合中頓別支署
すみや
炭谷 貴博



図1 AEDを頼まれたら取りに行きます



図2 AED本体を近くに置き、ケースを開けます



図3 AEDの電源を入れます



図4 胸をはだけます



図5 パッドを貼ります



図6 パッドに貼る場所が書いてあります



図7 小児用パッド

連載
第7回

自動体外式除細動機 (AED)

みなさん、こんにちは。早いもので本連載も7回目となりました。今回は自動体外式除細動器（以下、AED）の使い方について解説します。

2004年7月から一般市民によるAED使用が認められ、普及が進んでいます。みなさんの学校や近くの施設等にも設置されていると思います。

① AED の使用

- 1) 倒れている人に接触した人からAEDを持ってくるよう頼まれる、または自主的にAEDを取りにいく場合は、取りにいくことを接触した人に伝えてから取りにいけます（図1）。
- 2) AEDを持ってきたら、接触した人にそのことを伝え、倒れた人の近くに置き、ケースを開けます（図2）。
- 3) AEDの電源を入れます。AED本体の蓋を開けると、自動で電源が入る機種もあります（図3）。
- 4) 電源を入れると音声ガイダンスが流れますので、その指示に従って操作します。
- 5) 倒れた人の衣服（胸）をはだけます（図4）。
- 6) 電極パッド（以下、パッド）を袋から取り出し、倒れている人の胸に貼ります。貼る場所はパッド自体に書いてあります（図5・6）。
- 7) 倒れた人が小さい子ども（6歳以下の未就学児）の場合は、小児用パッドを使用します。小児用がない場合は、大人用パッドを使用します（図7）。
- 8) パッドは浮き上がらないように密着させます（図8・9）。
- 9) 倒れている人の胸が濡れている場合は、パッドを貼る前にタオルなどで拭きます（図10）。
- 10) ペースメーカーが埋め込まれている場合や、ケガなどでパッドに書かれている位置に貼れない場合は、心臓を挟むように位置を変えて貼ります（図11・12）。
- 11) パッドを貼ったら、先端にあるコネクタをAED本体に差し込みます。最初から本体に接続されている機種もあります（図13）。
- 12) AEDが電気ショックを必要かどうか判断します。このとき「患者に触れないで



図8 浮き上がりはNGです



図9 密着させます



図10 貼る前にタオルなどで拭きます

ください」と音声ガイダンスが流れますので、直ちに倒れている人から離れてください。

- 13) 「ショックが必要です。充電中です、患者から離れてください」と音声ガイダンスが流れ、倒れている人から離れるよう周囲に指示します（図14）。
- 14) その後「充電が完了しました。ショックボタンを押してください」と音声ガイダンスが流れるので、もう一度倒れている人から離れるよう周囲に指示し、倒れている人に誰も触れていないことを確認して、ショックボタンを押します（図15）。
- 15) 必要に応じて、心臓マッサージと人工呼吸を再開します（図16）。

②パッドを貼る時の注意点

- 1) 胸に貼り薬がある場合は剥がします（図17）。
- 2) ネックレスなどのアクセサリーがある場合、すぐに外し、時間がかかるようならパッドから遠ざけます（図18）。
- 3) 体毛（胸毛）が濃い場合は、ガムテープやカミソリを使って取り除きます（図19）。

③メンテナンス

- 1) AEDのパッドやバッテリーには使用期限があります（図20）。
- 2) 使用したものはすぐ補充しておきましょう。日頃のチェックを忘れずに！

AEDは簡単に使えて、電気ショックが必要かどうかを本体が判断してくれますので、間違っても操作しても電気は流れないようになっています。勇気をもって使用しましょう！
次回はAEDの理論です。



図11 パッドに書かれている貼り方



図12 パッドに書かれている位置に貼れない場合



図13 コネクターを差し込みます



図14 離れるように指示します



図15 ショックボタンを押します



図16 必要なら心臓マッサージを再開します



図17 貼り薬がある場合は剥がします

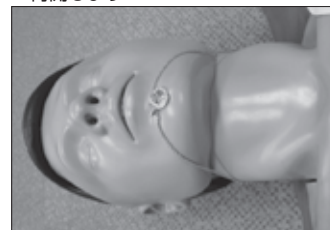


図18 アクセサリーはパッドから遠ざけます



図19 ガムテープやカミソリを使います



図20 使用期限をチェックしましょう